

寄稿

福島被災地視察ツアー



東日本大震災と原発事故があった時から、人の記憶が薄れていく頃、福島を訪れたいと考えていた。2015年11月7日と8日の週末、現地に通う臨床心理士の相馬勉さんが被災地の帰還問題を知る目的で企画している「福島被災地視察と仮設住宅訪問ボランティア・バスツアー」にほかの26人とともに参加した。

南相馬市の寺内仮設住宅に、掃除の手伝いと交流のため1泊。飯館村や周辺の除染現場、津波被害が当時のまま残っている帰還区域の小高区、被曝牛を育てる「希望の牧場」のある浪江町を巡り、高線量で知られる国道6号線を通って出発地の東京新宿に戻る。初めに相馬さんから、被災者の精神状態や関連死増加の報告があり、訪問地に暮らす人への配慮、仮設住宅内でのマスク使用禁止、「がんばってください」などの発言を控え傾聴を心がけるなどの注意事項が説明された。参加者全員にボランティア保険加入が義務付けられ、放射線対策は自己責任だった。

住民のいない家の前や田畑に、山と積まれた黒のフレコンバツクの風景が広がる飯館村の除染現場に到着すると、鳴り響くガイガーカウンターは空間線量で0.91、地上で6.4マイクロシーベルトと予想以上に高く、足がすくんだ。除染しても雨が降れば放射線



量は元に戻るといふ膨大な除染廃棄物に、費やされた作業員の被曝量と資金を想像した。

仮設住宅では、住民や関係者の話を聴き、この土地に住むことの難解な意味を感じた。補償金問題を巡り周辺住民とのトラブルもあるが仕方ないと思う。不平等な状況があると自治会長の藤島昌治さんは話

す。少子高齢化が進む仮設住宅で、血縁を越えた新しい家族のあり方を模索して帰還を前に行き先を失う人たちのためのシェアハウス建設の署名を募っていた。

「希望の牧場」で汚染された草を食へ生き続ける被曝牛に、この2日間、浴びた放射線量を、原発や除染現場で働く人々を、境界線の被災者の思いを、境界線の中を思う。人との出会いと相互作用から一人ではできない多くの貴重な体験をたのびたい。現地を訪れることでしか観えてこない問題の複雑さを知った。

(田中康子、写真も「ニューヨーク在住アーティスト」

2011 MAR 平成23年 3月																														
			1	2	3	4	5																							
6	7	8	9	10	11	12																								
13	14	15	16	17	18	19																								
20	21	22	23	24	25	26																								
27	28	29	30	31	1	2																								

NYの日本語教会
Japanese American
United Church
礼拝(日英bilingual):
日曜朝11時
☆チャイルドケア有
255 7th Ave., NYC
(24&25St.)
www.jauc.org

CRSで19日

投票率増加へ
夏の衆参同時選挙向け

東日本大震災第5回追悼式典

トウギヤザー・フォー・3・11
「NYは忘れていない」

東日本大震災の犠牲者を追悼し、「ニューヨークは忘れていない」とのメッセージを送る「第5回トウギヤザー・フォー・3・11追悼式典」が3月6日(日)午後4時45分から6時まで、アップパー・ウエストサイドのファースト・チャーチ・オブ・キリスト・チャーチ・テイスト(西68丁目10番地、セントラルパークウエストの角)で開催される。

ニューヨーク日本総領事高橋礼一郎大使、ジャパン・ソサエティ理事長の櫻井本篤氏、ニューヨーク日系ライオンズクラブ名誉会長の伊藤リキ氏、酔仙酒造株式会社(岩手県陸前高田市)社長の金野連氏、木

版「希望の船」紹介者で心理カウンセラーのジョイス・グロスバード氏のスピーチを予定。また、宮城県石巻市ローズファクトリーガーデン・元小学校教師の徳水博志氏、大船渡津波伝承館館長の齊藤賢治氏、福島県相馬市みなと保育園がビデオ出演を予定。ジャパン・コラル・ハーモニー「こも」が3・11鎮魂歌を演奏予定。司会主催代表のAK(柿原朱美)さん。入場無料(任意寄付)。収益全額がニューヨーク総領事館やジャパン・ソサエティなどを通して東日本大震災の支援に充てられる。詳細はウェブサイトをwww.japansociety.org/page/earthquakeを参照。

△ニューヨーク総領事館震災基金への小切手宛先をConsulate General of Japan NYC、メモ欄にJapan Earthquake Relief Fundと記入。

△「世界を動かす大きなエンジン」
love is the huge engine that moves the world
LET'S GO
在外選挙
選挙で楽しく民主主義!
参院選は2016年7月です
お早めに在外選挙人登録を

OVERSEAS
New York
overseasny2016@gmail.com

レッツ・ゴー!
在外選挙を
学習しよう

日時: 2016年2月19日(金)
夜7時より(6時45分開場)-9時まで
場所: CRS-123 4th Ave, 2nd FL
New York, NY 10003
TEL: 212-677-8621
主催: OVERSEAS NY
推奨寄付: 一人10ドル
(会場費、チラシ等の経費になります)
※要予約※
連絡先: overseasny2016@gmail.com

ゲストスピーカー:
海外有権者ネットワークNY(JOVNY) 共同代表
竹永浩之氏 Profile: 熊本県八代市出身。
琉球大学海洋学科中途退学。沖縄で東洋リサーチ。
その後アジアを放浪して32年NYに。
03年10月から、海外有権者ネットワークの活動を開始。
09年4月に同法が成立。
海外有権者ネットワークNY共同代表。
新聞社勤務を経て、現在男児2人を育てる主夫、NJ在住。

7月に実施される参議院選挙を前に、在外選挙学習会「レッツ・ゴー!」在外選挙場6時45分から、CRS(4番街123番地2階、電話212・677・8621)で開催される。主催は市民団体「オーバースイズNY」。海外有権者ネットワークNY共同代表の竹永浩之さんゲストに迎え、在外選挙について考え、在外選挙登録申請書の書き方などを解説する。

竹永さんは熊本県出身。琉球大学海洋学科中途退学。沖縄で東洋リサーチとなりアジアを放浪し1992年に来米。1993年10月から在外選挙制度実現の運動を始めた。新聞社勤務を経て現在はニューヨーク・ジョージア州主夫、男児2人を育てる。

参加費は推奨寄付10ドル(当日現金払い)。要予約。参加希望者は15日(月)までに予約を。予約・問い合わせはEメール overseasny2016@gmail.comまで。